

新企画！

庄原探訪 ～議長が行く～

市議会だより
しゅんげん

第88号

議長が市内を駆け巡るよ！

■発行：令和8年8月20日

庄原探訪 ～議長が行く～

第1回 熊野の大トチ ～悠久の時を刻む庄原の巨樹～

何百年もの時を超え、人々の暮らしを見守り続ける一本の巨樹。
庄原には、訪れた人だけが味わえる感動があります。



堂々とした姿を見せる国の天然記念物
「熊野の大トチ」

「庄原探訪 ～議長が行く～」
では、議長が実際に庄原市内の
風景や人物を訪ね歩き、地域に
息づく自然や文化、人々の営み
を皆さんにお伝えします。

記念すべき第1回は、西城町
熊野にある国の天然記念物「熊
野の大トチ」です。

地域では古くから大切に守ら
れ、時代が変わっても人々の敬
いの心は受け継がれ、今日まで
庄原の宝としてその姿を残して
います。

魅力あふれる大トチ

近年、この場所は映画のロケ地としても注目を
集めました。

カンヌ国際映画祭にも出品された映画『箱の中
の羊』の撮影が行われ、その幻想的な風景は世界
へ発信されています。

しかし、映像や写真では伝えきれない魅力があ
ります。

木漏れ日の中で見上げる枝葉。

川のせせらぎ。

風に揺れる葉の音。



そのすべてが一体となり、この場所だけの特別な時間をつくり出しています。



議長のひとこと

熊野の大トチの前に立つと、人の一生は自然の歴史のほんの一瞬なのだと感じます。

この巨樹が地域の皆さんによって大切に守られてきたことに深く敬意を抱きました。

庄原には、このような誇るべき宝が数多くあります。ぜひ現地を訪れ、その迫力と静けさを体感していただきたいと思います。

ルールやマナーを守って
静かに楽しんでね！



DATA

熊野の大トチ

- ・所在地：庄原市西城町熊野
- ・国指定天然記念物
- ・中国地方最大級のトチノキ
- ・四季折々に異なる表情が楽しめる庄原を代表する自然景観



西城町市街地から国道183号を北上し、熊野神社方面へ左折。白い看板の所から集落の道を登り竹林が見えたらもう間もなく！駐車場で車を降りたらそこは神聖な空気をまとったせせらぎが……

庄原市の魅力をお届けします！

「庄原探訪 ～議長が行く～」では、庄原市内各地の魅力を現地からお届けします。何気ない風景の中にも、地域の歴史や人々の想いが息づいています。皆さんも庄原の魅力を再発見する旅に出かけてみませんか。

令和8年6月

定例会議決結果

賛成全員のもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
6月8日	議案	76	専決処分の承認を求めることについて (庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
		77	専決処分の承認を求めることについて (庄原市税条例の一部を改正する条例)	承認
		103	庄原市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		104	庄原市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		105	庄原市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		106	庄原市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		107	庄原市公立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		108	財産の取得について	原案可決
		109	損害賠償の額を定めることについて	原案可決
		110	令和8年度庄原市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
6月26日	議案	111	令和8年度庄原市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
		78	庄原市教育委員会委員の任命の同意について	同意
		79	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		80	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		81	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		82	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		83	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		84	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		85	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		86	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		87	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		88	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		89	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		90	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		91	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		92	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		93	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		94	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		95	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		96	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		97	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		98	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		99	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		100	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		101	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
		102	庄原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
	発議	112	損害賠償の額を定めることについて	原案可決
		3	地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決
		4	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	原案可決
		5	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための2027年度政府予算の拡充を求める意見書	原案可決

一般質問

6月定例会では、14名が個人質問を行いました。



「孤独・孤立対策推進法」に基づく本市の取り組みについて



ひさ子 議員
近藤 久子

一般質問の動画はこちら



問

高齢化に加え単身世帯が増加傾向にある本市において、何を重要視した事業となるのか。

答

孤独・孤立の背景には複合的な課題が絡み合っているため、属性や世代を問わず相談できる包括的な体制の整備が重要である。本市では、相談・参加・地域づくりを一体的に行う「重層的支援体制」の構築を進めており、関係機関の連携や住民同士での見守り合いを促進し、「誰一人取り残さない支援」を推進していく。

問

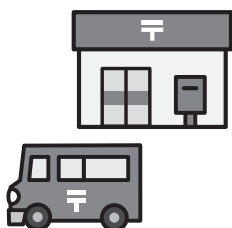
郵便局の存在は、窓口業務のみならず集配車の貨客混載等々、その連携内容は広範囲にわたり、住民サービスの利便性の向上となる。現段階の計画について伺う。

答

地域に根差した郵便局との幅広い分野での連携は、住民サービスの利便性向上につながると認識している。

現在、第3期庄原市行政経営改革大綱の改善事業に位置付けており、市内22箇所のネットワークを有する強みを生かした連携メニューを研究し、地域ニーズを踏まえつつ実現性の高いものから段階的に検討を進めていく。

誰一人
取り残さない
社会へ



共創のまちづくりの具体的な取り組みとしての郵便局との連携について



おか の 野 しげる 議員

一般質問の
動画は
こちらから



これからの支所の
あり方について

問

庄原地域を含めた各支所に地域の未来をともに考え、活動していく「共創の場」となる「地域共創プラットフォーム」を設置するべきと考えるが。

答

行政経営改革大綱に基づき、自治振興区や郵便局等と連携した地域運営体制の構築を検討しており、これは議員提案の「地域共創プラットフォーム」に近い概念と認識している。また、各支所に地域共創業務を専任で担うコーディネーターの配置を検討し、課題把握や調整機能を強化することで、迅速かつ的確な対応体制を整備していく。

協働の
まちづくりから
共創の
まちづくりへ



これからの自治振興区の
あり方について

問

職員の待遇改善等に資するため、集落支援員や指定地域共同活動団体等、国の制度を活用し、積極的に財源の確保を図るべきと考えるが。

答

交付金見直しでは業務と経費の仕分けを行い、将来にわたって持続可能な形に整えることを主眼としている。活用可能な制度での財源確保は当然目指すが、議員提案の集落支援員制度等は専任要件の制約があり、複数の業務を担う現状の事務局職員では満たせない。まずは業務仕分けの整理と照らし合わせて対応を検討していく。



きやま よしひと 議員

一般質問の
動画は
こちらから



中東情勢の悪化等、
国際紛争の状況を踏まえた、
本市における影響等について

問

国際紛争の長期化や情勢の悪化により、農畜産業における生産資材価格の高止まりや、さらなる不安定化が想定されるなか、生産者の経営の安定化に向けた課題認識並びに取り組みについて見解を伺う。

答

飼料の高騰対応として、「飼料高騰対策臨時支援事業」を実施する。農畜産業の経営においては、即効性のある支援と、中長期的な視点に立った経営合理化と安定化を図るため、スマート農業導入による省力化や、6次産業化による収益性の改善に取り組む。
今後も関係機関と連携し、必要な支援策を検討していく。

農業の安全対策について

問

令和6年の全国の農作業事故死亡者数は287人であり、10万人あたりの死亡事故者数が14.8人と極めて危険性の高い産業となっている。本市における農作業事故の実態と、農業の安全対策の取り組みについて見解を伺う。

答

農業就業者の高齢化や中山間地の地形条件などに加え、作業への慣れによる油断や熱中症対策不足などによる事故リスクが存在する。啓発活動の効果を継続させるため、作業員自らの安全意識を高める実践的な啓発内容や手法の見直しを行う。さらに、安全対策に必要な機材や装備等の実態調査を進め、啓発に活用していく。

安心して農業ができる
環境づくりを



一般質問

答

芸備線再構築協議会における最適な交通モードの議論において、本市は利用者数や収支など

が市長の見解は。

問

JR西日本の要請により、2024年1月、利用が低迷するJR芸備線備後庄原駅・備中神代駅間について、今後の方向性を議論する再構築協議会が設置され、今年

JR芸備線について



くにとし ともふみ 議員
知史 議員

一般質問の動画はこちら



これからも
芸備線とともにまちづくりを



の定量的な指標だけで評価するべきではないと考えている。地域住民の移動手段としての役割や観光・交流の促進、沿線地域の活力維持など、数値で表しにくい定性的な価値も踏まえた総合的な評価の必要性を強く主張している。

あわせて、日程を意識するあまり、方針決定に至る議論のプロセスが軽視されないよう事務局へ繰り返し求められている。最終的な方針は関係者の合意で決定されるが、本市は鉄道の維持・存続への強い思いを持ち、引き続き国や県へ必要な要望や提言を行うとともに、関係自治体との連携を一層深めて今後の議論に臨んでいく。

答

①本市の商工振興は、これまでの延長線上にない新たな発想と戦略が必要である。今後は事業者支援や創業、企業の先進技術導入を強化する方針である。

特にイノベーション推進係は、起業家支援や市外事業者との連携による新ビジネスの創出と、産学官連携を通じた先進技術導入や高付加価値な製品開発を促進し、産業の持続的

問

①本市の商工振興の今後の方
向性、とりわけイノベーション推進係に期待する役割について市長の所見は。

②本市の地域経済を支える中小企業・小規模事業者の持続的な発展と成長を支援するための理念型の中小企業・小規模事業者振興条例が必要と考えるが。

商工振興について



ごしま まこと 議員
誠 議員

一般質問の動画はこちら



中小企業・小規模事業者の
持続的な発展と成長を支援



成長の実現を目指した取り組みを推進していく。

②本市では理念型の基本条例は制定していないが、市内商工会議所や商工会、金融機関等と連携し、中小企業や小規模企業の振興に取り組んでいる。県内の理念型条例はすべて新規制定であり、助成型の条例から改正した事例はない。

今後関係団体との連携を一層強化して事業者の声を把握し、第3期長期総合計画に基づき、持続的に発展できる環境づくりに取り組んでいく。



堀井 慎一郎 議員

一般質問の
動画は
こちらから



芸備線再構築協議会における
庄原市の基本姿勢について

問

三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会でのＪＲ西日本の広島～三次間の機能強化策の提案が再構築協議会の議論に与える影響は。

答

三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会で議論される三次～広島駅間の機能強化は、芸備線の利用促進や広域観光を通じた地域経済の活性化につながる重要な取り組みである。広域鉄道ネットワークの意義を踏まえ、同協議会の最新情報を的確に把握し、多様な視点を持ちながら芸備線再構築協議会の議論に臨んでいく。

通学区域の広域化に伴う通学・校外活動等における児童・生徒の安全確保について

問

保護者からの児童・生徒の欠席連絡がない場合や、路線バスやスクールバスで通学する児童・生徒がバス停に見当たらない場合の連絡体制は。

答

児童・生徒が事前連絡なく欠席した場合、保護者へ連絡し、つながらない場合は家庭訪問を行うなど、安否が確認できるまで対応を継続する。

また、スクールバス利用時は事業者の連絡先や連絡可能な時間帯を保護者と共有し、一部の学校では保護者間で連絡を取り合える体制も整えている。路線バスの場合は、学校とのやり取りとなる。

こども達が
安心して学ぶために



横路 政之 議員

一般質問の
動画は
こちらから



物価高騰等による
今後の地域経済対策について

問

物価高騰や人手不足、消費低迷等により、市内事業者の経営や市民生活への影響が懸念される中、市としてどのような独自支援策や相談体制の充実を図っていくのか。また、国や県にどのような支援の拡充を求めているのか。

答

物価高騰等による厳しい経済状況に対し、市独自の大規模支援策を講じ、抜本的解決を図ることとは困難である。そのため、国や県の支援策を最大限に活用し、連携して事業者への情報提供や相談対応に努める。さらに、今後の状況悪化も見据え、全国市長会等を通じて国や県へ事業者のニーズに沿った支援策の拡充等、必要な声を届けていく。

災害時における難病患者等の
避難支援体制について

問

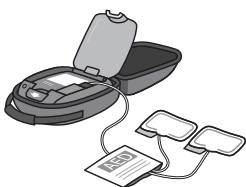
災害時に医療的ケアを必要とする難病患者等の命と健康を守るため、個別避難計画の作成や活用体制はどのようになっているのか。また、停電時の電源確保をはじめ、安心して避難生活を送るための支援体制をどのように整備しているのか。

答

民生委員と連携し、個々の医療・介護ニーズに応じた個別計画書を作成し、本人同意のうえで、関係機関へ情報提供を行い、迅速な避難支援に活用いただいている。

また、停電は医療機器利用者の生命に関わるため、可搬型発電機や電気自動車等の公用車および車両から給電機による電力供給体制を整備している。有事には資機材を指定福祉避難所等へ迅速に配備し、安全確保に取り組む。

要配慮者が
安心・安全に
避難できる
体制を



一般質問



たかあき 隆明 議員

一般質問の動画はこちら



第10期介護保険事業計画の策定に向けて

問

介護保険準備基金が、7期から9期にかけて大幅に増えている。介護保険料を引き下げるため、第10期介護保険事業計画においても準備基金を有効に活用すべきではないか。

答

これまでも厚生労働省が、適切な保険料設定に留意するよう見解を示してきたところであり、本市においては、第9期計画でも4億円の準備基金の取り崩しを前提として保険料の算定を行った。次期計画においても今後示される国の報酬改定に基づき、適切な給付費の見込みを立て、準備金の活用を視野に入れた適切な保険料を検討していく。

帝釈峽雄橋観賞ルートの早期復旧と今後の活用方針について

問

県の自然環境課は、最短でも令和10年度中の工事完了を目指しているが、できるだけ早い解決に向けて力を尽くす必要がある。

また、今回の事態を契機に、2007年3月に「天然記念物雄橋緊急調査報告書」で提言されている、雄橋野呂の高台を一部整備して雄橋を展望できる施設の整備はできないか。

答

帝釈峽雄橋の通行止め長期化による観光業への影響は極めて大きいと認識しており、県に対する協力や働きかけを通じ、可能な限り早期の再開に向けて取り組む。展望施設の整備については、文化財や自然保護の観点から慎重に精査する必要があるため、ドローン映像の活用など既存施設での展示を工夫し、自然環境学習の推進に努める。

早期復旧のために全力を



本市における地域防災のあり方について



まえだ 智永 議員

一般質問の動画はこちら



問

①避難所支援や広報活動等で女性が積極的に活動できる女性消防団や機能別団員等の組織体制づくりが必要では。

②防災士ネットワークを構築し、自主防災組織や民生委員等との連携、地域全体で防災力向上を目指したプラットフォームの構築が必要では。

答

①消防団の持続可能な組織のあり方について見直しを進めている。機能別団員等の導入は組織全体への影響を考慮し、先進地の状況を踏まえ慎重に検討する。多様な人材が活躍できる環境づくりと入団促進に取り組む。

②激甚化する災害に対応するため、平常時からの自主防災力の向上が重要である。増加傾向にある防災

士など、地域の関係者が顔の見える形で情報共有や連携ができる場や仕組みを作り、地域防災力の底上げを図る。

リーディングプロジェクト「PEACE-ful」について

問

地域を一番理解している支所を中心として各地域との協議を早急に進める必要がある。これまで地域が将来像を描き努力し続けてきたものに対し、プロジェクト推進として市が協力体制や実装に至る過程を伴走支援することが重要と考えるが。

答

「庄原版コンパクト・プラス・ネットワーク」の推進に向け、住民主体の将来ビジョン提案等をモデルに検討を進める。市民対話を重ね、行政や住民、事業者等の役割分担を明確にしながら、持続可能なまちの実現を目指す。

住民の努力を実現へ





まつもと みのり 議員

一般質問の
動画は
こちらから



ペットの多頭飼育崩壊を
未然に防ぐ取り組みについて

問

猫は、生後6〜7か月で最初の発情期を迎え、妊娠から出産までの期間は約2か月である。1年で1匹の母猫が20匹以上の子猫を生み、その翌年には80匹以上に増えてしまうことがあるほど、非常に強い繁殖力を持っている。

一度適切な飼育状況を外れると、個人の力では收拾がつかず、飼い主自身の生活が立ちいかなくなる多頭飼育崩壊に陥るため、崩壊に至る前の対策、仕組みづくりを行うべきと考える。その一步として、ペットの多頭飼育の届出制度を設け、状況把握と介入の糸口づくりを行ってはどうか。

答

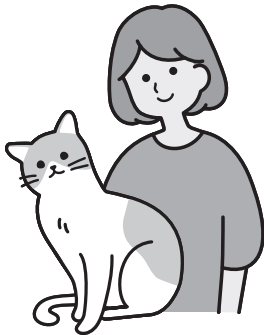
多頭飼育崩壊は、動物の状態悪化にとどまらず、悪臭や騒

音などの周辺環境への悪影響、飼い主自身の生活悪化をもたらす深刻な問題であると認識している。

現在、動物の適切な飼養や無計画な繁殖防止に向けた普及啓発に努めているが、提案のあった「多頭飼育の届出制度」を本市独自で導入することについては、専門的な指導助言や立ち入り調査等の権限や動物愛護管理施設を有する県を含めた体制整備が不可欠であり、多くの課題があると考えている。

まずは県や関係機関との連携を深め、動物愛護に関する啓発活動を推進する。同時に、市民からの個別相談には、庁内関係部署や関係機関が連携し、丁寧に対応していく。

STOP! 多頭飼育崩壊



ほりうち とみひろ 議員

一般質問の
動画は
こちらから



市民が誇れる観光資源を
面でつなぐ、周遊・滞在型
観光戦略について

問

①比婆山連峰エリアを登山・自然体験から宿泊、飲食、物産、周辺観光へと続く周遊・滞在の拠点として、一体的に設計していく考えがあるか。

②観光資源の磨き上げにとどまらず、「人とつながれる庄原」という体験価値を核に据えた観光の基盤産業化の方向性と戦略は。

答

①比婆山連峰は魅力的な資源だが、単体では消費や交流を生みにくいため、他施設等の訪問もあわせた周遊の仕掛けが必要である。新たな観光振興計画や観光消費額増加戦略の策定において、ニーズ調査やマーケティング分析を行い、一帯の周遊について具体的な検討を

進める予定である。

比婆道後帝釈国定公園は、県や地元との協議を重ねながら、取り組みを進めていく。

②様々な資源相互を組み合わせた事業展開や、人との出会いを体験価値とすることは大切な考え方である。

第2期観光振興計画における住民参画やコンテンツ開発の検証を踏まえ、新たな計画・戦略の中でさらなるブラッシュアップを図る。観光立国推進基本計画など国の政策とも連動し、積極的な観光誘客に取り組んでいく。

つなぐ、庄原観光



一般質問



きくかわ みちや 議員

一般質問の
動画は
こちらから



本市の強みである歴史文化や文化財を活用した第3期庄原市観光振興計画策定について

問

本市の強みである重層的な歴史文化資源が観光戦略に十分活かされず、来訪者の「歴史・文化が豊富」とのイメージは4・5%にとどまる。第3期観光振興計画では歴史文化を観光資源調査の対象に位置づけ、戦略の柱の一つに据えるべきと考えるが。

答

これまでは基本施策としての位置付けに至っていないが、今後は各資源のターゲット層や訴求力、集客力に加え、市内での消費効果などをしっかりと評価する。その上で、計画の政策の柱や施策体系づくりの中で各資源の活用等について整理していく。

オンライン予約システムおよびスマートロックによる公共施設の鍵管理の簡素化について

問

オンライン予約とスマートロックを連携させた公共施設管理のスマート化により、鍵の貸出・返却に係る職員や地域の管理者の負担軽減、夜間・休日の無人運用、24時間予約受付、災害時の迅速な避難所開設が期待される。この効果の評価は。

答

公共施設の予約や鍵の受け渡しにおける利便性向上と管理業務の効率化は、改善すべき課題である。現在策定中の第3期行政経営改革大綱に掲げているとおり、デジタル技術を活用した施設のスマート化を推進する。電子申請やスマートロック等の導入により、無人運用や24時間受付、災害時の迅速な避難所開設などを実現していく。

公共施設管理の
スマート化へ



島根原子力発電所事故発生時の避難計画について



ふくやま けんじ 議員

一般質問の
動画は
こちらから



問

市内各自治振興区に対し、避難者の受け入れ体制の準備について、どのように周知され、徹底されているのか。

答

広域避難の受入体制については、令和5年度に避難所候補施設などの管理者へ個別訪問を実施し、運営マニュアルに基づく説明を通じて一定の理解を得ている。実際の受け入れに際しては、初動対応は本市職員が中心となり地域の協力を得て行いが、その後は順次、松江市の職員や避難住民による自主運営へと移行することになっており、こうした地域の実質的な負担を抑える運用の流れについても共有を図ってきた。

自治振興区での役員交代等により

原発事故時の
避難受け入れ
体制を万全に



改めて説明が必要な場合は、柔軟に対応していく。今後も継続的な情報提供とフォローアップを行い、関係機関と緊密に連携しながら、受入体制のさらなる周知徹底に努める。



まつもり じゅんぺい 議員
松森 潤平

一般質問の
動画は
こちらから



庄原ブランディングの
方向性について

問

令和8年度からの「庄原ブランディング推進」に期待する一方、市民の愛着度低下や観光地としての認識不足という課題がある。「庄原ってこんなまち」という共通認識が持っていない現状を踏まえ、以下2点を問う。

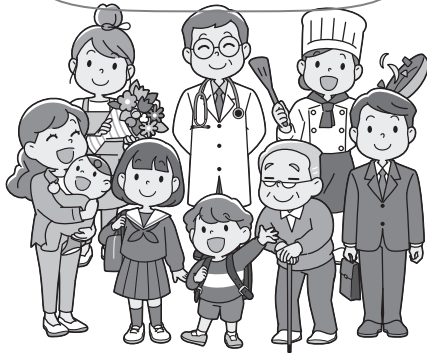
①市民の愛着度や幸福度を高める「インナーブランディング」の重要性に対する見解は。

②市民自らが市の魅力を語ることが最大のシテippoモーションとなる。誇りを育む機運醸成への道筋をどのように計画しているのか。

答

①市民や職員が本市の豊かな自然や歴史などの価値を深く理解し共有する「インナーブランディング」を推進する。地域の価値

市民自らが庄原の魅力を
語れるまちに



を再発見し、誇りを感じることは、幸福度向上につながるだけでなく、外部への強い発信力となる。市民が本市に暮らす魅力を再認識し、誇りと愛着を持てるまちづくりに向けて取り組みを強化していく。

②市民自身が本市の最大のファンとなり、日常の言葉で魅力を語ることこそが、最大のプロモーションである。この機運を醸成するため、日常にある魅力の再発見や共感の輪を広げる土壌づくりを進める。具体的には、情報発信の手法を学べるセミナーの開催や、効果的な発信の仕組みづくりなど、プロジェクトチームを中心に検討し、地道に推進していく。

表彰

次のとおり表彰されました。
功績をたたえ、今後の活躍を
祈ります。

第158回
中国市議会議長会定期総会
における表彰

開催日 4月23日

議員特別表彰
議員24年以上

福山 権二

議員12年以上

五島 誠

正副議長普通表彰
正副議長3年以上

福山 権二



代表挨拶 福山権二議員



「攻める農業」と「守る農業」で 農地と担い手を未来へ

— 農業振興計画策定および多様な担い手への支援等について —

産業建設常任委員会では、令和7年7月から令和8年5月まで、「農業振興計画策定および多様な担い手への支援等について」を所管事務調査のテーマとして、計7回にわたり調査・協議を行いました。国の農業基本法改正に伴う政策転換を踏まえ、令和8年度を始期とする第3期庄原市農業振興計画の策定状況を執行部から聴取し、多様な担い手の確保、遊休農地対策、新たな補助金体系などについて議論を重ね、委員会の意見の反映に努めました。



調査の経過

年月日	主な内容
令和7年 7月15日	調査方針の決定（多様な担い手・農業機械リース等の支援）
令和7年 8月 8日	現状課題の整理（法人化・規模拡大、担い手確保、遊休農地、有機農業）
令和7年10月15日	計画骨子案の検討（「戦略型成長農業」「地域承継型農業」の二本柱）
令和7年12月12日	施策体系・目標水準（KPI/KGI）、水田政策、販路拡大
令和8年 2月16日	計画案の詳細、労働力不足対策、産直市の活性化
令和8年 3月 4日	新たな農業補助金制度、申請手続の簡素化・電子化
令和8年 5月14日	調査のまとめに向けた協議

第3期農業振興計画の二本柱

- ◆**戦略型成長農業（攻める農業）** スマート農業等の活用により集積・経営改善・規模拡大を図り、「儲かる産業」として事業者の拡大をめざします。主業経営体の所得500万円、販売額1,000万円以上の経営体の割合を10年後に19%以上とすることなどを目標としています。
- ◆**地域承継型農業（守る農業）** 農作業受託による農地保全、産直市等での消費促進、生きがいとしての農産物生産などを通じ、5年後の経営耕地面積80%以上の維持をめざします。兼業・小規模農家も「農地の守り手」として担い手に位置づけられました。

あわせて、スマート農業推進事業、農業機械導入支援事業、自給食糧生産応援事業（草刈り機等）など、二本柱に対応した新たな補助金制度が創設されました。

委員会の提言

委員会は、二本柱を本市の実態に即した内容と一定評価する一方、「補助金があっても利用者がいなければ効果は生まれない」として、担い手の確保・育成を最大の課題と位置づけ、次の3点を提言しました。

1	農林振興公社による作業受託の推進と実効性の確保 担い手不足の農地を維持するため、公社による農作業受託の範囲拡大と、その機能を十分に発揮できる体制整備を注視し、必要な支援を行うこと。
2	確実な情報伝達と手続の簡素化 補助制度の情報が届きにくい層へのプッシュ型の周知を徹底するとともに、ペーパーレス化・電子申請を積極的に推進し、農家と事務方双方の負担軽減を図ること。
3	現場の声の継続的な聴取 計画始動後も、農業法人・営農集団・小規模農家などの意見を直接聴く機会を継続的に設け、米価等の変動に応じた柔軟な検証・見直しを行うこと（策定5年目の中間見直しと連動）。

委員長より

申請手続の煩雑さや、単年度事業における納期と現場スケジュールの乖離など、運用面の課題も指摘されました。制度が現場で本当に使われ、意図どおり機能するのか。委員会として今後も推移を見守り、現場の声を市政に届けてまいります。

【記事作成 吉川 達也】

「もっと読みたいくなる」議会だよりへ！



講師の矢嶋先生



全議員意見を出し、熱意ある会場



他市町を参考に

「しょうばら市議会だより」を手にとっていただき、ありがとうございます。

広報委員会では、皆様に「次のページもめくりたい」と思っただけのよう、リニューアルに向けて動いています！



■ 「伝える」から「伝わる」へ

7月6日（月）、議会広報アドバイザーの矢嶋洋美氏を講師にお招きし、『議会広報誌のよりよい作り方～読者目線×編集者目線で磨く「伝える力」～』と題して、研修会を開催しました。

議会だよりは、単なる活動の「報告書」ではなく、市民の皆様と議会をつなぎ、市の課題を共有し、一緒に考えるための大切な「コミュニケーションツール」。



■ 「自分ごと」になる誌面づくり

議員と市民は、持っている情報量が違うと言われています。皆様の生活に直結している市の課題を、議員と市民の皆様と一緒に「自分ごと」として捉えていけるよう、工夫を重ねていきます。

議会の視点！

「議会だよりは、皆様との対話の入り口です」

どんなにデザインが綺麗でも、肝心なのは中身です。単なる会議の風景写真ではなく、現場のリアルな写真を採用し、議員自身の視点や思いを直接記事に込め、議会の「意思」をお届けします。

あなたの声を聞かせてください！

「こんな記事が読みたい」

「議会だよりを読んでこう思った」



こちらのQRコードから



市民の皆さまと一緒によりよい議会だよりをつくってまいります。 広報委員会 前田 智永

今年も語る会開催中！ ぜひ、これからの庄原市の話を楽しみましょう！

■ 市民と語る会の開催日程 ■

警報発令や災害等による開催延期・中止の判断は開催時間の2時間前までに決定します。

日程は次のとおりです。ご都合の良い日にご参加ください！

開催日	開会時間	開催地域		開催場所	意見交換テーマ	担当班
		地域	地区			
8月25日(火)	19:00～	庄原	庄原	庄原自治振興センター	・地域の歴史的遺産「庄原クジラ」を活用したまちづくりの推進について	2班
10月9日(金)	19:00～	西城	西城	西城自治振興センター	(検討中)	4班
10月14日(水)	19:00～	口和	全域	口和自治振興センター	・安心安全な地域づくり	2班
10月23日(金)	19:00～	庄原	峰田	峰田自治振興センター	・人口減少の現状と関係人口の増加に向けて	3班
10月23日(金)	19:00～	東城	田森	田森自治振興センター	・自治振興区の今後のあり方等について	4班
10月28日(水)	19:00～	東城	東城	東城自治振興センター	・～「議会とは」を考える～ 地方自治における議会の役割とあり方について 地域づくりにおける議員の関わり方について 議員定数における女性枠の設定について	3班
10月30日(金)	19:00～	庄原	山内	山内自治振興センター		4班
10月30日(金)	19:00～	東城	新坂	新坂自治振興センター	・地域公共交通の現状と課題	1班
10月30日(金)	19:00～	庄原	敷信	敷信自治振興センター	(検討中)	3班
11月4日(水)	19:00～	庄原	東	東自治振興センター	・自治会の課題について	4班
11月4日(水)	19:00～	庄原	高	高自治振興センター		2班
11月5日(木)	19:00～	庄原	北	北自治振興センター	・10年先の庄原市を見据えて	1班
11月10日(火)	19:00～	高野	全域	上高自治振興センター	・定住住宅の建設について	4班
11月18日(水)	19:00～	東城	小奴可	小奴可自治振興センター	(検討中)	3班

※開催済みの会場については、省略しています。

5名以上でお申し込みいただければ、議員がお伺いし、意見交換をさせていただく「**市民と語る会 井戸端スタイル**」も受け付けております。是非ご利用ください。（お申込み手続き等、詳細は以下のQRコードからご確認ください。）

■ 各班の構成 ■

わたしたちがお伺いします！

(◎班の代表者)

1班	
◎谷口 隆明	
近藤 久子	
宇山 茂之	
桜田 亮太	
青山 学	

2班	
◎福山 権二	
横路 政之	
五島 誠	
國利 知史	
松森 潤平	

3班	
◎松本 みのり	
吉川 遂也	
岡野 茂	
堀内 富夫	
木山 義仁	

4班	
◎前田 智永	
徳永 泰臣	
桂藤 和夫	
堀井 慎一郎	



議会HP
QRコード

議会の動き

5・6・7月

5月

8日 議会運営委員会
地域生活交通に係る調査特別委員会
14日 産業建設常任委員会
産業建設常任委員会管内視察
22日 総務経営常任委員会
総務経営調査会
教育民生調査会
26日 議員全員協議会
29日 教育民生常任委員会行政視察

第3回市議会定例会 初日
予算決算常任委員会
9日 総務経営常任委員会
10日 予算決算常任委員会
地域生活交通に係る調査特別委員会
15日 産業建設常任委員会
22日 第3回市議会定例会 2日目
23日 第3回市議会定例会 3日目
議会運営委員会
24日 第3回市議会定例会 4日目
教育民生常任委員会
26日 議会運営委員会
第3回市議会定例会 最終日
議員全員協議会

議会広報委員会
総務経営常任委員会
29日 議会広報委員会

6月

1日 議会運営委員会
8日 議会運営委員会

7月

6日 議会広報委員会
10日 総務経営常任委員会
23日 議会広報委員会
24日 議会運営委員会
総務経営常任委員会行政視察

9月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
9月 2日(水)	本会議
9月 7日(月)	本会議【一般質問】
9月 8日(火)	本会議【一般質問】
9月 9日(水)	本会議【一般質問】
9月29日(火)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。

詳しくは議会事務局(☎0824-73-1162)へお問い合わせください。
本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。

本会議生中継映像をインターネット上で配信しています。
録画映像もご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。
傍聴お待ちしております。

庄原市議会 中継

検索



《表紙写真の説明》



今回の表紙写真は、熊野の大トチです。見開きで特集を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

編集後記

広島市内の知人から比婆山のブナ林を散策してリフレッシュしているという話を聞きました。そうしたやまなみの地域は、美しい清流の源でもあり、昔から人々が山を越えてつながってきた大切な場所だと改めて感じました。

そこで、今回は最近話題の「熊野の大トチ」を特集記事として取り上げました。庄原には豊かな自然が広がっていて、町づくりの土台となる素晴らしい環境があることを再認識できました。案内してくださった西城町観光協会の岡崎さんにはとてもお世話になりました。どうぞ皆さんも庄原の自

然や歴史に親しんでみてくださいね。
(福山 権二)



議会広報委員会
委員長 福山 権二
副委員長 五島 誠
委員 徳永 泰臣
委員 桂藤 和夫
委員 吉川 遂也
委員 前田 智永